

五島市文化的景観調査報告書
奈留島編

長崎県五島市

令和2年3月

例 言

1. 本書は、平成29年度から30年度にかけて五島市奈留島において実施した文化的景観保存調査の報告書である。

刊行にあたっては、五島市文化的景観整備活用委員会での検討のもと、五島市総務企画部政策企画課が調査成果等を取りまとめ、刊行した。

2. 本調査は、文化財関係国庫補助事業文化的景観保護推進事業により実施した。

3. 調査及び本報告書の執筆は、下記の体制により実施した。

調査項目	調査者	調査・執筆内容
集落景観	柴田 久 福岡大学工学部教授 福岡大学景観まちづくり研究室	集落景観の構造と特徴の分析 (構成要素の把握・整理) 「第4章 集落構造と特徴 第1節、第3節」調査・執筆担当
地質・地形	金子 大作 九州大学大学院 理学研究院修士課程 (当時)	調査範囲の地質学的調査 (地質、地形の形成史) 「第2章 自然的特性 第1節 ②」 調査・執筆担当
社会調査	山田 亨 明治大学文学部准教授	生業、生活、社会構造等の調査 「第5章 社会環境」調査・執筆担当
歴史	大石一久 長崎キリシタン博物館 副館長 (当時)	奈留島内の石造物調査 「第3章 第2節 石造物調査」 調査・執筆担当
建築	木方 十根 鹿児島大学工学部教授	特徴的な建築物の調査・ 景観構成要素の抽出 「第4章 第2節」調査・執筆担当

なお、第1章、第2章第2節～第3節、第3章第1節、第6章及び第7章については、事務局で執筆した。

4. 五島市文化的景観整備活用委員会等の構成は以下の通りである。

五島市文化的景観整備活用委員会(奈留島) 委員名簿

区 分	委員氏名	所 属 等	専門分野
委員長	立平 進	元長崎国際大学教授	歴史・民俗学
委員	木方 十根	鹿児島大学教授	建築、都市計画
〃	柴田 久	福岡大学教授	景観工学
〃	山田 亨	明治大学准教授	社会環境学

指導・助言

氏 名	所 属 等
市原 富士夫	文化庁文化財部記念物課文化財調査官 (～H30. 8. 31)
永井 ふみ	文化庁文化財部記念物課文部科学技官 (H30. 9. 1～H30. 8. 31) 文化庁文化財第二課文部科学技官 (H30. 10. 1～)
山口 華代	長崎県教育庁学芸文化課文化財班係長
村山 拓男	長崎県文化観光国際部世界遺産課係長 (H31. 4. 1～)
西極 春幸	長崎県文化観光国際部世界遺産課主任主事 (H29. 4. 1～H31. 3. 31)
犬塚 拓郎	長崎県文化観光国際部世界遺産課主事 (H31. 4. 1～)

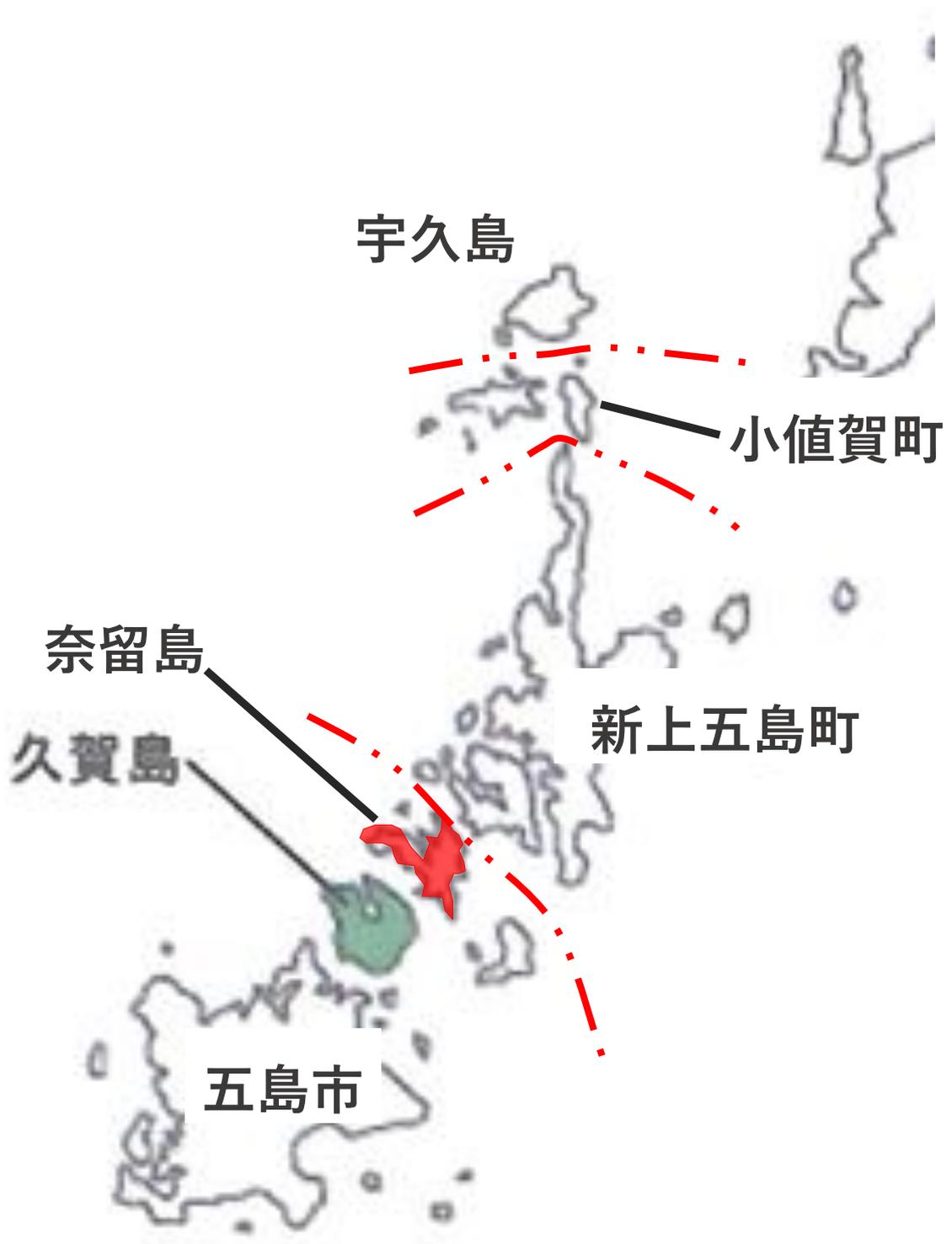
5. 本書で扱う「五島列島地域」の定義について

一般的に、「五島」、「五島列島」と呼称・記述した場合、新上五島町の中通島以南の地域を指すことが多いが、北端の宇久島や小値賀諸島（それぞれ佐世保市宇久町、北松浦郡小値賀町の行政範囲）を含めるかどうかで、混乱を招くことがある。

本書では、便宜的に下記のとおり定義する。

- ①五島列島：五島市と新上五島町の行政範囲（宇久島、小値賀諸島は含めない）。
- ②五島列島地域：①に宇久島、小値賀諸島を含めた範囲。
- ③下五島地域：五島市地域と同義語。

五島列島区域図



第1章 保存調査の目的と対象地の概要	
第1節 保存調査に至る経緯	1
第2節 保存調査の目的と内容	2
第3節 五島列島における奈留島の概要	2
第4節 文化財	10
第2章 自然的特性	
第1節 地形・地質	14
第2節 気象	35
第3節 植生	38
第3章 奈留島の歴史・沿革	
第1節 五島市及び奈留島の歴史	48
第2節 石造物調査	63
第4章 景観構造と特徴	
第1節 集落の構造と特徴	91
第2節 各集落の世帯平面構成と景観構成要素	105
第3節 集落の特徴的景観構成要素	116
第4節 集落構造から見た文化的景観の価値とその保護施策について	121
第5章 社会環境	
第1節 他地域（久賀島）との関わり	125
第2節 交通	137
第6章 民俗・習俗	
第1節 奈留島の「かくれキリシタン」	142
第2節 奈留島におけるかくれキリシタン集落の分布	142
第3節 年中行事	144
第4節 人生儀礼	147
第7章 文化的景観としての本質的価値	
第1節 久賀島及び奈留島の文化的景観の特徴	150
第2節 久賀島と奈留島との関連性	158
第3節 文化的景観の本質的価値と保護を必要とする範囲	159
第4節 景観構成要素	160